

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名		高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康	
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤里佳	
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2114	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果	5
		30	11	1	2	10438			コスト削減優先度評価結果	—
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度		12	年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~	年度)	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										
【事業の内容】 市が社会福祉協議会に委託して実施している事業で、年間を通じて木工、陶芸、パソコン等の教室を開催している。材料費等は必要に応じて参加者より徴収している。国の地域支援事業(交付金事業)のメニュー事業の一つである。										
【業務の流れ】 ・国への計画書提出、交付金申請事務・自行委託契約事務・委託事業実績報告確認事務・委託料支払い事務・交付金実績報告事務・交付金清算事務										
【主な予算費目】 委託料										

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 委託料1,465,000円。	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 20年度と同様
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 一般高齢者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 教室の開催数 ⇒ イ 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 高齢者の生きがいと社会参画を促進する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 介護認定を受けていない高齢者 ⇒ イ 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 地域に仲間がいる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 教室に参加した延べ人数 ⇒ イ 人
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 老人クラブへの加入者数 ⇒ イ サロンへの参加者数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	385	385	366	366	366	375	375	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円	192	192	183	183	183	187	187	
		地方債	千円								
		その他	千円	477	477	733	733	733	780	780	
		繰入金	千円	486	486	183	183	183	188	188	
	(A) 事業費計		千円	1,540	1,540	1,465	1,465	1,465	1,530	1,530	
	うち指定経費		千円								
	うち時間外、特殊勤務手当		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	1	3	3	4	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	6	18	18	48	18	18	18	
(B)人件費計		千円	24	72	72	191	72	72	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,564	1,612	1,537	1,656	1,537	1,602	1,530		
活動指標	ア イ	回 人	11 8631	11 8842	13 8675	10 8465	13 8600	13 8725	13 8800	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	ア イ	人 人	8631 327	8842 259	8675 342	8465 234	8600 350	8725 350	8800 350		
成果指標	ア イ	人 人	327 3738	259 3700	342 3850	234 3330	350 3900	350 3950	350 4000		
上位成果指標	ア イ	人 人	3738 (4396)8325	3700 4611	3850 (4857)9200	3330 (4700)7854	3900 (5089)9640	3950 (5205)9860	4000 (5300)9950		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成12年度より、旧西合志町国の補助事業として開始した。閉じこもりがちな高齢者が新たな趣味に興味を持っていただくことによって、生きがいを持ち、自立した生活ができるように開始した。福祉施設で開催することで施設の社会化を促す。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
旧合志町では行っていなかったが、旧西合志町が行っていたので、すりあわせで合併後も行っている。
事業開始当初は認知度が低かったため、参加者が少なかったが年々増加傾向にある。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
定員が少ない(ワード・インターネット教室) マンツーマンの指導で解りやすい 福祉施設へ初めて入った 次回も参加した

事務事業名	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 高齢者の生きがいと社会参画を促進することにより、不自由なく地域の中で生活できるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 介護認定者予備軍を税金を使って予防することは、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 事業内容を工夫することにより、成果は向上すると思われる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 休止した場合、家に閉じこもりがちになり社会参加ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 高齢者のみを対象としているが、生涯学習課で同様の事業を開催しており他の事業と連携が可能である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在教室を開催している場所が社会福祉施設を利用しているため、施設使用料を払っているの、使用料のかからない場所を確保すれば削減できる。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 委託で行っているため。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 旧西合志町だけで行っていたこともあり、事業の周知できていないため一部のみに偏っている。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ 事業内容を工夫することにより、成果は向上すると思われる。 現在教室を開催している場所が、施設の利用料を払っており、参加人数が少ないので、教室の開催場所と教室の内容について見直す必要がある。 旧西合志町だけで行っていたこともあり、事業の周知できていないため一部のみに偏っている。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 現在教室を開催している場所が社会福祉施設を利用しているため、施設使用料を払っているの、使用料のかからない場所を確保すれば削減できる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td>△</td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	△	維持 低下	△		△
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上		○	△														
	維持 低下	△		△														

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

使用料のいらない施設の確保と事業の周知方法。
市の施設で開催ができるか関係課との協議が必要。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	2	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	5	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)